

安全データシート

作成：2019/12/20

改訂： / /

1. 製品及び会社情報

製品名 : エビロン M1010
SDS整理番号 : L278
会社名 : 太平洋化学製品株式会社
住 所 : 〒340-0002 埼玉県草加市青柳1丁目2番15号
担当部門 : 草加・品質保証課
電話番号 : 048-935-3141
FAX番号 : 048-931-2384
緊急連絡電話番号 : 048-935-3141
推奨用途及び使用上の制限 : 印刷用硬質塩化ビニルシート
熱プレス加工用硬質塩化ビニルシート

2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 分類基準に該当しない。
GHSに該当しない : 燃焼すると塩化水素、二酸化炭素、一酸化炭素等を含有する刺激性
危険有害性 のガスが発生する可能性がある。
粉塵を発生させると粉塵爆発の危険性がある。

3. 組成及び成分情報

単一製品、混合物の区分：混合物（成形品）

成分及び含有量

成分名	重量%	官報公示 整理番号	CAS No.	化管法 (PRTR)	安衛法 第57条の2
塩化ビニル樹脂	80%以上	(6)-66	9002-86-2	—	—
有機スズ系安定剤	3.0%以下	(2)-2244 (2)-2316	15571-58-1 27107-89-7	239	322 すず及び その化合物
その他（強化剤・着色剤等）	17%以下	—	—	—	—

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 溶融物のガスを吸って、気分が悪くなった場合は直ちに空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。症状が改善しなければ医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 通常の状態では問題ないが、高温の溶融物が付着した場合は、衣服の上から水をかけ、十分に冷却した後、医師の診断を受ける。衣服や溶融物が溶着している場合は、無理に剥がさない。
- 眼に入った場合 : 眼球を傷つける可能性があるため清浄な水で十分に洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続ける。異常を感じるようであれば眼科医の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄する。無理に吐かせず、医師の診断を受ける。
-

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、炭酸ガス
- 火災時の
特定危険有害性 : 燃焼すると刺激性ガス（主成分：塩化水素、二酸化炭素、一酸化炭素）が発生する。
- 特定の消火方法 : 一般火災と同じ消火方法を用いる。
火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。
- 消火を行う者
の保護 : 消火作業をする際は、防火保護服、呼吸保護具、保護メガネを着用する。
-

6. 漏出時の措置

- 人体に対する
注意事項 : 特になし
- 環境に対する
注意事項 : 機械加工等で発生した粉塵が飛散した場合は、速やかに掃き集めて回収する。飛散したものが下水・河川・湖沼等に排出されないよう注意する。
-

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 火気を近づけない。
加熱成型加工時に発生するガスにより呼吸器や皮膚を刺激することがあり、大量に吸入した場合、吐き気・頭痛等を起こすことがあるので換気の良い場所で取扱い、吸入しないように注意する。必要に応じて局所排気装置を使用する。

機械加工や粉碎等で発生する粉塵は、静電気や電気スパーク等で粉塵爆発を起こすことがあるので、堆積しないように掃除を心がける。
割れて破片が飛散することがあるため、過度の衝撃を与えない。
シートを摩擦すると静電気が発生することがあるため、静電気災害に注意する。

保管 : 熱、発火源から離し、床への直置きせず、直射日光や高温多湿を避け、水に濡らさない。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 粉碎等の粉塵を発生する作業や、高温に加熱しガスが発生する作業では、快適な作業環境を得るため局所排気装置等を設けるのが望ましい。

管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度 : 設定されていない。

呼吸器保護具 : 機械加工等粉塵の発生する作業の場合は、防塵マスクを着用する。

手の保護具 : 通常のシートを扱う場合は特に必要ないが、成型機で加熱シートを取り扱う時は、断熱性の良い手袋を着用する。

眼の保護具 : 機械加工等粉塵の発生する作業の場合は、保護眼鏡を着用する。

皮膚及び
体の保護具 : 通常の作業服でよいが、成型及び溶融樹脂を取扱う時は、長袖の作業服を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観等 : シート状固体

融点 : なし (約60℃から次第に軟化する)

比重 : 1.35～1.45

溶解度 : 水に不溶。テトラヒドロフランによく溶ける。

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常の取扱いにおいては安定である。

反応性 : 通常の取り扱いにおいて反応性はない。

危険有害な
分解生成物 : 塩化水素、二酸化炭素、一酸化炭素

1 1. 有害性情報

急性毒性	: 現在のところ知見なし。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: 現在のところ知見なし。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	: 現在のところ知見なし。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 現在のところ知見なし。
生殖細胞変異原性	: 現在のところ知見なし。
発がん性	: 現在のところ知見なし。
生殖毒性	: 現在のところ知見なし。
特定標的臓器毒性、単回ばく露	: 現在のところ知見なし。
特定標的臓器毒性、反復ばく露	: 現在のところ知見なし。
吸引性呼吸器有害性	: 現在のところ知見なし。

1 2. 環境影響情報

生態毒性	: 現在のところ知見なし。
残留性・分解性	: 現在のところ知見なし。
生体蓄積性	: 現在のところ知見なし。
土壌中の移動性	: 現在のところ知見なし。
オゾン層への有害性	: 現在のところ知見なし。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：法令及び地域の条例に従って、焼却又は埋立によって処理する。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従って、処理する。

産業廃棄物処理を委託する場合は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

焼却は、大気汚染防止法に適合した焼却設備及び排気ガス処理装置付き焼却設備を用いて焼却する。

いかなる海洋や水域に投棄、放出してはいけない。

1 4. 輸送上の注意

通常状態では、安全上とくに問題はないが、雨、直射日光、高温、高湿をさける。

運搬に際しては梱包体に破れのないことを確かめ、落下、損傷がないように積み込み荷崩れ及び水濡れの防止を確実にを行うとともに、乱暴な取扱いをしない。

国際規制：該当しない。

国内法規制：該当しない。

1 5. 適用法令

化管法(PRTR 法)	: 239	すずとして含有量1%未満のため当製品は該当しない
安衛法 第57条の2	: 322	すず及びその化合物(0.1%以上通知)
毒劇法	:	該当しない
消防法	:	該当しない

1 6. その他の情報

本製品は固体状(成形品)であるため、安全データシート作成の対象ではありませんが、製品を安全に取り扱うために必要な情報を本データシートで提供するものです。

本データシートの記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改定されることがあります。また、注意事項は通常の手扱いを対象としたものであり、特別な手扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。

記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。

記載内容の問い合わせ先： 太平化学製品株式会社
草加・品質保証課
TEL 048-935-3141 FAX 048-931-2384

以上